

第6節 市民への適切な情報提供と市民参加の促進

高齢者が自分らしく生活していくために、高齢者施策に関する多様な情報を分かりやすく整理することで、市民が必要な情報を的確に選択し、入手できるような環境を整えていくとともに、高齢者施策の策定過程への市民参加を促進していきます。

また、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられる環境づくりを目指す「地域包括ケアシステム」の構築の趣旨を市民に浸透させていくため、まずは、市民に対し、高齢期の医療や介護等について、どのような選択肢があり、どうすればそれを利用できるのかについてを、幅広く情報提供していきます。

一方で、本市や地域包括支援センター等では、高齢者に関する様々な情報を把握していることから、個人情報の管理については、慎重を期していきます。

1 市民への適切な情報提供の推進

(1) 高齢者施策に関する多様な情報の提供

本市では、高齢者施策に関する多様な情報を市民が的確に選択できるように、保健・医療・福祉・生活支援のサービスに関する総合パンフレット「すこやか長寿」や介護保険制度の概要を説明した「みんないきいき介護保険」、地域包括支援センターの役割や連絡先等を掲載したパンフレット等を発行しています。また、サービス別に事業者名や所在地等を記載した「介護サービス事業者情報」を本市ホームページ等で公表するとともに、厚生労働省がインターネット上で運用する「介護サービス情報公表システム」における情報に本市ホームページからアクセスできるよう対応するなど、多彩なサービスメニューの中から、市民が必要な情報を選択し、円滑に利用できるよう情報を整理して提供しています。

今後も情報提供に当たり、市民が分かりやすく、的確に情報を入手し、選択できる環境づくりに取り組んでいきます。

(2) 医療や介護が必要になる前の幅広い情報の提供

高齢者が医療・介護サービスの内容や違いについて早めに理解することが、その後の生活への安心感につながることから、様々な機会を活用し、また、多様な方法により医療や介護に関する情報を提供していきます。

ア 高齢期の医療や介護等に係る総合的な情報の周知

医療や介護が必要になってからではなく、ある程度事前に、老後における地域での生活がイメージできるよう、高齢期の医療や介護等に係る総合的な情報の周知活動を行っていきます。

イ 地域の施設等を活用した福祉教育の実施

地域ぐるみで身近に介護を考えてもらうための機会として、介護保険施設等が開催する行事などの施設開放の取組を積極的に活用し、高齢期の生活に関する正しい知識を得られる機会を創出していきます。

ウ 終末期等の医療や介護について考える住民参加型イベント等の開催

本人の意思が尊重されたケアが行われるためには、その意思が表明され、医療従事者、介護者に共有されていることが重要です。

そのため、終末期における意思決定やエンディングノート（※）の作り方等について考えるシンポジウムなどの住民参加型イベントを開催し、より身近に医療や介護について考えるきっかけづくりを行っていきます。

エ メディアの効果的な活用による周知活動の展開

限られた資源を最大限に活用し、広報・周知活動を効果的に展開していくために、従来の広報手段にとどまらず、多様なマスメディアや人が集まる商業施設等の場の活用、幅広い関係者との連携など、様々な機会を活用し、また、多様な方法により積極的な広報・周知活動に取り組んでいきます。

※エンディングノート：高齢者が人生の終末期に迎える死に備えて自身の希望を書き留めておくノート。自身が死亡したときや、判断力・意思疎通能力の喪失を伴う病気にかかったときに希望する内容等を記す。

2 高齢者施策の策定過程への市民参加の促進

「長寿安心プラン 2012」における施策の評価や見直しを行う金沢市介護保険運営協議会には、高齢者の方々の意見の反映のため高齢者団体の代表にご参加をいただいております。また、3人の公募委員をはじめ、多くの市民が参加しています。公募委員は、本計画の策定の中心となるワーキングチームにも2人が参加し、市民参加が実践されています。

また、本計画の策定においては、計10回の市民フォーラムを開催し、高齢者の方をはじめ多くの市民の方からご意見をいただいたほか、日常生活圏域ニーズ調査によるニーズの把握やパブリックコメント手続（※）による意見募集も実施しました。（表29）

今後も、高齢者施策の立案・決定等の場に市民の参加を促進していくとともに、フォーラムや小規模な地域懇談会の開催、計画の実施過程で地域説明会を行い、身近なところで市民が意見を述べるができる機会を増やしていきます。

■表 29 介護保険市民フォーラム開催実績

開催年度	回数	延べ 参加人数	テ ー マ
H26年度	10回	348人	地域力で高齢者の暮らしを支え合うまち金沢を目指して

※パブリックコメント手続：施策の企画立案に当たり、当該施策の趣旨、目的、内容等を公表し、これらについて提出された市民の意見を考慮し、意思決定を行う手続をいう。

